

B 個別学習 (B 1) 主な学習活動 文字式の計算を中心とした計算練習をする。

1 本時のねらい

文字式の計算を中心に、いろいろな計算問題を解くことができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

電子黒板

ムーブノート

ドリルパーク

3 参考にしてほしいポイント

ミライシード・ドリルパークを活用し、自分が理解を深めたい計算問題に自主的に取り組むことができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
課題追究	ドリルパークを活用し自分に合った計算問題に取り組み計算力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・例題は電子黒板を使い一斉指導する。 ・タブレットを使い計算練習をさせる。 ・話すことが苦手な生徒には、ムーブノート（チャット機能）を使い質問させる。 ・最後に正答率を確認し反省をさせる。

電子黒板

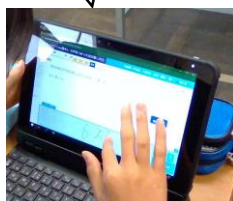
+

タブレット



それぞれの例題を途中の計算も丁寧に書き電子黒板に映しておく。

自分のペースで自分の取り組みたい計算を進める。



最後に自分の正答率を確認、反省をさせ、次時の目標を設定する。

4 活用効果

自分の学力に合った計算を自分のペースで進めることができ、生徒は意欲的に計算練習に取り組むことができた。また、チャット機能を活用することで、話すことが苦手な生徒も質問し個別に指導することができた。生徒一人一人が考え、復習したり予習したりと自主的な学習を進めることができた。